

## 「原水爆禁止2019世界大会」へのメッセージ

1945年に広島・長崎に原爆が投下されてから、74回目の夏を迎えました。世の中から戦争をなくし、真の恒久平和を実現することは、人類すべての願いであります。

我が国は世界で唯一の核被爆国であり、私たちはあらゆる機会を通じて戦争の悲惨さ、そして核兵器の廃絶、世界平和の実現を世界に訴えてまいりました。

そうしたなか、一昨年には、国連で核兵器禁止条約が採決され、また、朝鮮半島での南北対話や米朝会談の実現など、世界情勢は大きく変化しており、予断は許さないものの、対話による問題解決の動きが強まってきております。

しかしながら、世界には今なお多くの核兵器が存在し、毎日どこかで醜い争いが起こっており、「核兵器のない世界」の実現にはほど遠い状況です。

核兵器廃絶に向けた機運が高まっている今こそ、平和の大切さを再認識し、無益な争いやテロの根絶など、一步一步着実に前に進んでいかなければなりません。

例年開催されます原水爆禁止世界大会は、核兵器の悲惨さを全世界に伝え、その非人道性を訴える活動として大変意義深い大会です。本市といたしましても、さまざまな機会を通じて、核兵器の廃絶、戦争や争いがもたらす悲劇、そして平和の大切さを世界に訴え、皆様とともに歩んでまいる所存です。

私たちの願いが世界中に届き、核兵器の廃絶、そして真の世界平和が一日も早く実現することを心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

下関市長 前田 晋太郎